

奥出雲町社協だより



ふくしの窓

2025

4月

NO.119



奥出雲町軽スポーツ交流大会

詳しい内容につきましては 10 ページをご覧ください。

もくじ

- P2~7 令和7年度事業計画・当初予算
- P8 横田地域小学校統合前最後の
“社協のふくし出前講座”
- P9 ボランティアセンターからのお知らせ
- P10 寄付の報告、軽スポーツ交流大会
- P11 寄付のお礼
- P12 お知らせ

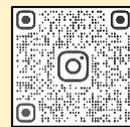
“奥出雲町社協”の日常の様子はHP、インスタグラム、Facebookにて随時更新しています。

奥出雲町社協 検索

HP



Instagram



Facebook



LINE



NEW



ふくしの窓は赤い羽根共同募金の助成により発行しています。

令和7年度 社会福祉法人奥出雲町社会福祉協議会 事業計画・当初予算

【はじめに】

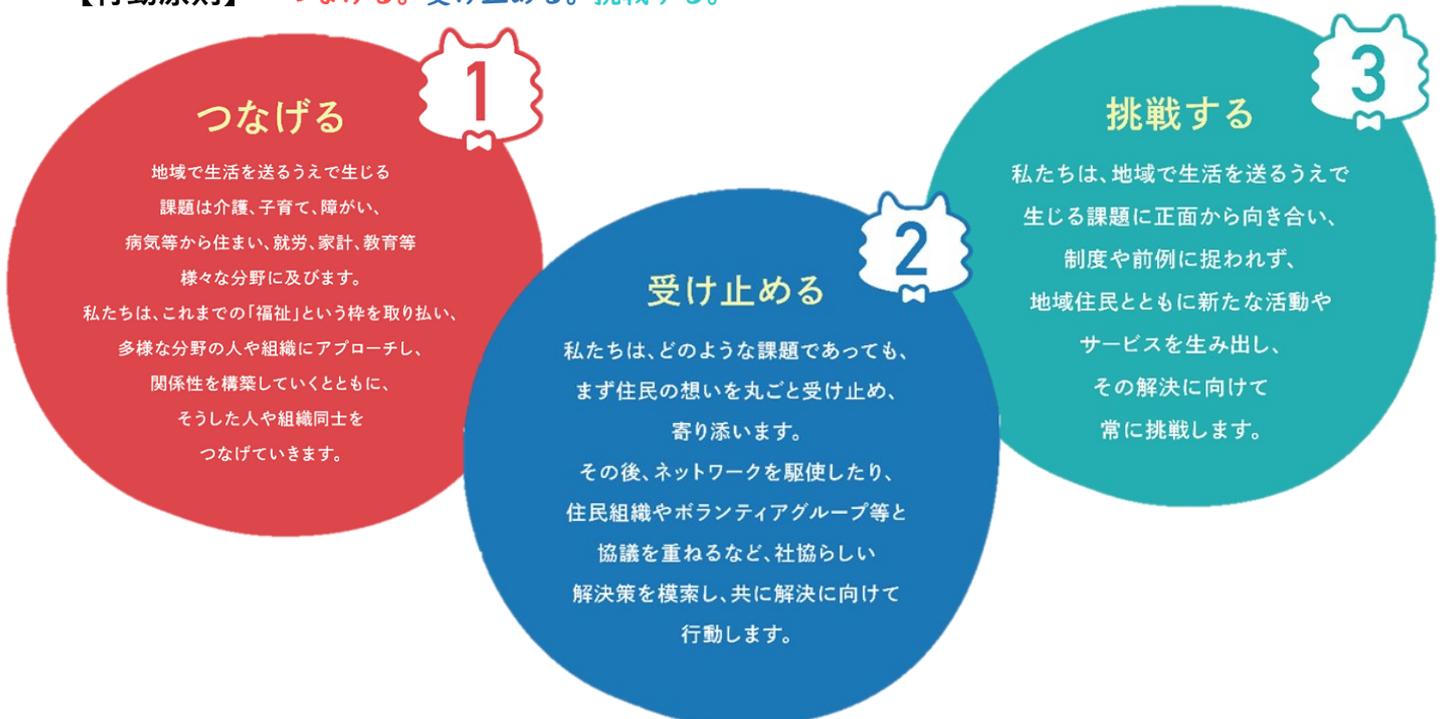
平成4年に「新・社協基本要項」が策定されてから30余年、社会や経済は大きく変化するとともに、特に近年の地域福祉の政策化・施策化の進展により社協が果たす役割がますます広がりを見せています。新型コロナウイルスによるパンデミックの渦中には、生活福祉資金特例貸付を通じたセーフティネット機能を発揮しましたが、同時にそれまで潜在化していた生活課題に直面し、本会では新たな活動やサービスを生み出すことにより難事を切り抜けてきました。新たな局面を迎えたと言っても過言ではない地域福祉分野において、全国社会福祉協議会では「社会福祉協議会基本要項2025」を策定(令和7年3月)し、生活困窮やひきこもり、また孤独・孤立、身寄りのない方の権利擁護など、取り組むべき課題が山積する中での社会福祉協議会の使命を改めて示しました。

このような背景において、本会では「社会福祉協議会の7つの活動原則(※)」を基本に、地域住民一人ひとりにとっての「(ふ)普通の(く)暮らしの(し)幸せ」をめざし、様々な挑戦を盛り込んだ令和7年度事業計画を策定します。

(※)「社会福祉協議会の7つの活動原則」

①住民ニーズ基本の原則 ②つながりづくりの原則 ③個別支援と地域づくりの一体的展開の原則 ④民間性の原則 ⑤連携・協働の原則 ⑥専門性の原則 ⑦行政とのパートナーシップの原則

【行動原則】 ~つなげる。受け止める。挑戦する。~

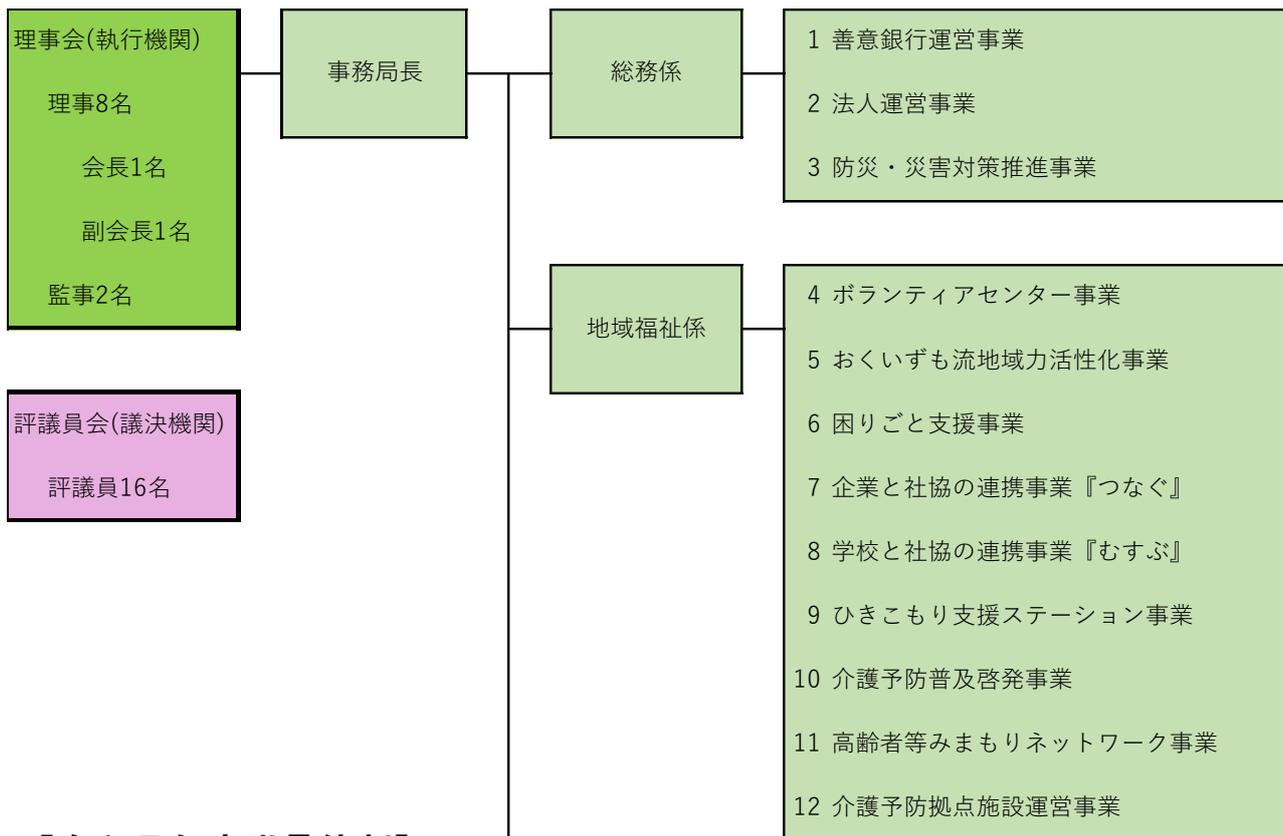


収入の部

合計 61,983 千円

会費収入	2,663 千円	寄付収入	4,419 千円	補助金収入	15,368 千円
事業収入	5,010 千円	貸付事業収入	3,000 千円	受取利息収入	200 千円
受託金収入	30,283 千円	その他の収入	40 千円	前期末残高	1,000 千円

【組織の構成と実施事業】



【令和7年度職員体制】

職名	氏名
事務局長	田食 喜美子
主任	小櫻 美可子
主任	古井 将貴
主事	中村 望生
主事	加村 一樹
介護予防普及啓発指導員	三谷 百合子
コールセンターオペレーター	田中 玲子
コールセンターオペレーター	唐桶 妙子
グラウンド・ゴルフ場管理者	石原 照雄

職員一丸となって奥出雲町の地域福祉を推進していきます。
今年度もよろしく願いいたします。

【基本理念】 ～ 支え合い 助け合い 安心して暮らせる まちづくり ～

1 善意銀行運営事業 (2,340 千円)

町民の皆様からいただく浄財や物品を適切に管理運用し、地域福祉を推進する。

2 法人運営事業 (10,187 千円)

適切な法人運営や事業経営を行うとともに、総合的な企画や各事業の調整等を行う法人全体のマネジメント業務にあたる。

3 防災・災害対策推進事業 (466 千円)

奥出雲町地域防災計画との密接な連携のもと、社協が行うべき業務や役職員の行動指針を定め、関係機関等と協力しながらそれぞれの役割を共有し、災害発生時に迅速に対応する。また、地域づくりの一環としての災害対策を推進する。



【写真：令和6年度災害ボランティアセンター立上訓練 in 阿井】

4 ボランティアセンター事業 (879 千円)

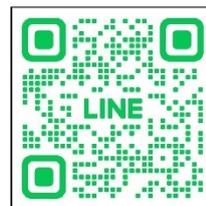
住民のボランティアに関する理解と関心を深めるとともに、ボランティアの育成を図ることにより、助け合いの輪を広げる。

5 おくいずも流地域力活性化事業 (2,565 千円)

住民ひとりひとりが安心して生活できる地域をつくるため、'向こう三軒両隣精神'を土台とする地域社会のしくみを再建し、住民が主体的に自らの力を集結した地域力を醸成することを支援する。

6 困りごと支援事業 (255 千円)

様々な困りごとを抱え援助を必要とする方のお手伝いをするることにより、その方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援する。



令和6年度からLINEチャット相談を始めました！

7 企業と社協の連携事業『つなぐ』 (766 千円)

既存制度では対応が困難なひきこもり状態にある人に対し、地域とのつながりを適切に確保する支援を行うとともに、地元企業や地域全体で支える基盤を作る。



農事組合法人

中国牧場



仁多興産 有限会社

奥出雲やまなみファーム



【※奥出雲町のひきこもり率は県平均のおよそ5倍です。
ご家族のみなさんも、ひとりで悩まず社協にご相談ください。】

8 学校と社協の連携事業『むすぶ』 (263 千円)

学校等と社協のつながりを強固なものとすることで、特別支援学級や不登校等の子供とその家族のニーズや課題の早期発見につなげ、誰もが地域で活躍できるまちづくりの推進を図る。



【令和6年度職場見学(左：株式会社丸共、右：株式会社サンエイト)】

9 ひきこもり支援ステーション事業 (町受託事業) (12,471 千円)

ひきこもり支援の基盤を構築し、ひきこもりの状態にある本人や家族の状況を踏まえた早期支援、自立支援を図る。



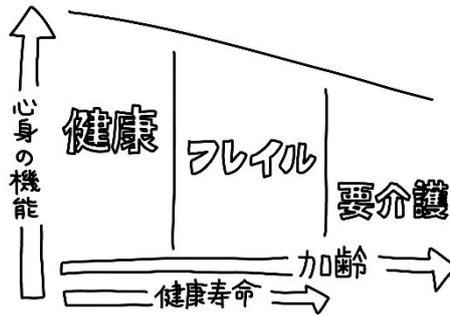
【現在 25 名のサポーターさんが活躍中！】



【メンバーさんとサポーターでお好み焼きづくり！】

10 介護予防普及啓発事業 (町受託事業) (6,218 千円)

高齢者に対してフレイル(虚弱)予防に関する知識を提供することにより、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図る。



11 高齢者等みまもりネットワーク事業 (町受託事業) (4,887 千円)

支援ネットワークを通じた見守り体制を強化することにより、高齢者の安心安全な生活を支援する。

12 介護予防拠点施設管理事業 (町受託事業) (1,417 千円)

高齢者が介護を要する状態にならないよう予防し、生きがいを持って毎日を送ることができるよう支援するための施設を管理する。

13 生活困窮者支援等のための地域づくり事業 (町受託事業) (6,661 千円)

地域住民相互の支え合いによる共助の取り組みの活性化を図りつつ、生活困窮者等と地域とのつながりを適切に確保し、地域全体で支えるしくみを構築する。

14 伴走型支援事業 (80 千円)

ひきこもりや生活困窮等により社会的孤立感や生きづらさを感じている方に対し、課題解決型支援と並行してつながり続ける伴走型の支援を実施する。

15 子育て世帯訪問支援事業 (町受託事業) (171 千円)

保護者に監護させることが不相当である児童の保護者、食事や生活習慣等について不適切な養育状態にある児童の保護者、また妊産婦やヤングケアラー等に対し、訪問支援員による家事支援や一時的な子供の保育等を実施する。

16 終活サポート事業『ゆずりは』 (450 千円)

終活を希望する高齢者や身寄りのない高齢者等に対し、終活支援を行うことで心から安心して生活を送ることができるような仕組み作りを行う。



自分にもしものことがあったら…
治療方針は…？
延命治療はするの…？
介護は誰が…？
家や土地の相続は…？
葬儀は誰が…？

令和6年4月1日に相続登記が義務化され、
終活への関心が高まっています。

17 福祉サービス利用援助事業『まもるくん』（県社協受託事業）（5,245 千円）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が十分でなく、日常生活を営むのに支障がある方に対し、福祉サービスの利用援助並びにその他の福祉サービスの適切な利用のための一連の援助を一体的に実施する。

18 法人後見事業（500 千円）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、意思決定が困難な方の権利擁護のため、法律的な支援を実施する。

19 資金貸付事業（3,010 千円）

生活に困窮する世帯の自立と更生のため、小口現金の貸付と相談支援を実施する。

20 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）（372 千円）

低所得世帯、障がい者世帯等の自立と更生のため、各種資金の貸付と相談支援を実施する。

21 屋内ゲートボール場管理運営事業（1,080 千円）

生涯スポーツの振興により、地域福祉の増進を図る。

佐白の“すぱーく仁多”を運営しています。



22 グラウンド・ゴルフ場管理運営事業（株式会社サンエイト受託事業）（1,700 千円）

生涯スポーツの振興により、地域福祉の増進を図る。



高尾の“グリーンヒルさとう”を運営しています。



その他、奥出雲町共同募金委員会、
奥出雲町老人クラブ連合会の事務局を担当しています！！





横田地域小学校統合前最後の社協のふくし出前講座



視覚障がいの方の見え方は？

3月6日（木）に馬木小学校3・4年生を対象に、あいサポーター研修やアイマスク体験を行いました。ユニバーサルデザインに触れたり、目の不自由な人の体験をしてもらい、困っている人を見かけたらどんな声掛けをしたらいいのか、どうやって手助けをしたらいいのか学んでもらいました。

今回学んだことを活かし、障がいのある方に限らず困っている人を見かけたら声かけや手助けをして新しい学校生活を送ってほしいです。

児童の感想



困っている人がいたら声をかけ、助けてあげたい！

目が見えない状態で歩くのは怖かったけど、友達の声かけがあって安心した。



点字の本に触れてみよう！

今年度も

『社協のふくし出前講座』 申込み受付中

内容

- ・あいサポーター研修
 - ・車いす体験
 - ・高齢者疑似体験
 - ・その他(アイマスク体験、福祉についてのお話など)
- 詳しくは右記の冊子をご覧ください。
また、HPからもご覧になれます。

<https://okuizumo-syakyo.com>

冊子をリニューアルしました



ボランティアセンターからのお知らせ

ボランティア活動保険加入のご案内

ボランティア活動保険ってなに？



ボランティア活動中の様々な事故による怪我や賠償責任を補償します。

【補償期間】 加入した日の翌日～令和8年3月31日

【補償内容】

- ①ボランティア自身が予期せぬ事故により怪我をした場合。
- ②ボランティア自身が活動先で他人に怪我をさせたり、他人の物を壊したことにより法律上の損害賠償責任を負った場合。

災害ボランティア活動でも適用されます

【年間保険料】

○基本プラン 350円 ○天災・地震補償プラン 500円

【その他】

ボランティア行専用保険



福祉・送迎サービス補償



※ボランティアセンター（ボラセン）とは、「ボランティアがしたい」という方と「ボランティアをしてほしい」という方をつなぐ役割をしているセンターです。

“備えあれば憂いなし”

ボランティア活動中の万が一の事故に備えて、ボランティア活動保険の加入をお勧めします！！

お問合せ先

ボランティアに興味のある方、また退職後などにボランティア活動を考えている方もお気軽にお問合せください。

奥出雲町ボランティアセンター（社協） 54-0800（担当：加村）

2月12日
(水)

福祉巡回車のご寄贈いただきました

この度、一般社団法人生命保険協会島根県協会様より福祉巡回車をご寄贈いただきました。

町内の高齢者世帯をはじめ生活に困窮している世帯や、ひきこもり世帯等への訪問など幅広く地域福祉事業へ活用させていただきます。

誠にありがとうございました。



左から勝田会長（社協）、栗井様（生命保険協会島根県協会会長）

2月18日
(火)

軽スポーツ交流大会を開催しました！！

第17回奥出雲町軽スポーツ交流大会を奥出雲町立町民体育館で開催しました。

軽スポーツ（ニュースポーツ）は、年齢や性別など関係なく、誰でも楽しめるスポーツです。

今回は、スカットボール、ラダーゲッター、バッグゴ、ボタンク（ボッチャペタンク）の4種目のうち3種目を行い、グループで順位を決めていきました。



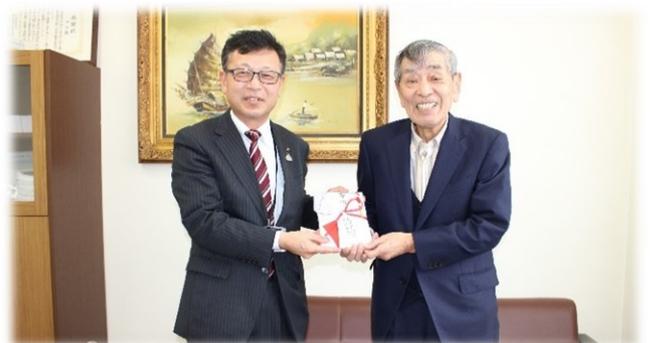
▲左からスカットボールとバッグゴの様子

3月12日
(水)

お米券のご寄付いただきました

この度、島根県農業協同組合雲南地区本部様よりお米券のご寄付をいただきました。

今後、町内の生活困窮世帯等への支援として活用させていただきます。誠にありがとうございました。



左から源様（JA島根雲南地区本部長）、勝田会長（社協）

寄付のお礼

奥出雲町社協では、次の方々から
ご寄付いただきました。

紙上にてお礼申し上げます。

誠にありがとうございます。

(令和七年二月一日)

令和七年三月三十一日受付分掲載)

香典返し・

玉串料返し等(受付順)

松原宗治様(下阿井)
田辺真澄様(八代)
林和雄様(三沢)
景山哲彦様(三沢)
荒光明彦様(三沢)
山金光明様(三沢)
山内弘一様(八川)
福間健二様(横田)
川島晴子様(稲原)

菅田武敏様(上阿井)
石田賢司様(下横田)
内田弘治様(三成)
矢木初彦様(郡)
石原暁様(上三所)
新田昭喜様(竹崎)
真田益雄様(稲原)
部博文子様(稲原)
山本盛枝様(大呂)
清水勇紀様(小馬木)
清水勇紀様(三成)
田部俊行様(鴨倉)
陶山弘様(八代)
景山哲彦様(三沢)
川島崇道様(三所)

春田豊子様(小馬木)
葛川武雄様(大馬木)
鹿野努様(亀嵩)
若槻あき子様(馬馳)
柳澤久美子様(亀嵩)
藤本龍二様(亀嵩)
堀尾薫様(八川)
堀江隆司様(稲原)
長澤幸子様(大呂)
長澤明美様(大呂)
長谷川明徳様(三沢)
石原照雄様(小馬木)
米原恒恵様(亀嵩)
横田相愛教会様
仁多仏教会様

善意の寄付(受付順)

物品寄付(受付順)

使用済み切手を集めて
アジア・アフリカに
健康を届けよう!!

あなたの切手が...

約 5,000 枚 (約 1.0 kg)



タンザニアの看護学生1人の
1年分の教科書代になります

約 12,000 枚 (約 2.4 kg)



インドネシアの助産師学校で
1カ月分の授業料になります

一般社団法人
生命保険協会島根県協会様
 ≪スズキ アルト 一台≫
 更生保護女性会仁多支部様
 ≪古切手≫
 奥出雲町連合婦人会様
 ≪古切手≫
 島根県農業協同組合
雲南地区本部様
 ≪お米券 二〇〇枚≫
 陶山実様
 ≪食料≫
 JASしまね雲南女性部
仁多支部様
 ≪古切手≫

お知らせ



お問い合わせ・申し込みは奥出雲町社協まで

→ TEL54-0800 有線31-0800

出張なんでも相談所を開設します！！

日常生活の困りごとについて、人権擁護委員、民生児童委員、行政書士が相談をお受けします。

相談内容に関する秘密は厳守されますので、安心してお申し込みください。

■日時 令和7年5月15日(木)

10:00~12:00

■場所 布勢コミュニティセンター

■日時 令和7年6月13日(金)

10:00~12:00

■場所 横田コミュニティセンター

※相談につきましては予約制です。
予約が入り次第受付を終了させていただきます。

ご希望の方は当日送迎も致します。
予約時にお申し込みください。



しまねの福祉・保育職場 就職フェア

県内の福祉職場への就職に希望、関心のある方に対し、職場への理解を深めるとともに就職を支援することを目的にしまねの福祉・保育職場 就職フェアを開催します。

無資格・未経験の方、他業種からの転職をお考えの方も歓迎します。

■期日・会場

①松江会場

場所：くにびきメッセ多目的ホール

日時：令和7年5月10日(土)

13:30~16:00(受付13:00~)

②出雲会場

場所：朱鷺会館大ホール

日時：令和7年5月29日(木)

13:30~16:00(受付13:00~)

■問い合わせ先

社会福祉法人島根県社会福祉協議会

島根県福祉人材センター 0852-32-5957

ひきこもり相談『みらい』

ひとりで抱え込まずに、まずは相談を！

ご本人

・人に会うのが苦手
・ひきこもりから抜け出すために
どうしたらいいか分からない。

ご家族

・子どもがひきこもりかもしれない
・悩み続けて家族も疲れてしまった

ひきこもり当事者やご家族、親戚などどなたのご相談でもお受けします。

■相談日時 月曜日~金曜日(祝日・年末年始除く)

9:00~16:00

【電話】0854-54-0800

【メール】syakyo@okuizumo.ne.jp

【LINE】右のQRコードから友達追加



おたすけフードをご存知ですか？

食品のご寄付をお受けしています！

社協ではお米、カップ麺、缶詰、レトルト食品(賞味期限内、未開封のものに限ります)などを『おたすけフード』として緊急的に食品を必要としている方にお渡ししています。ご家庭に眠っている食品がある方はぜひご相談ください。

※食品の状態、充足状況によってはお受けできない場合があります。



仁多事務所

〒699-1511 島根県仁多郡奥出雲町三成260番地1

TEL (0854)-54-0800 Fax (0854)-54-0801

有線 31-0800

E-mail syakyo@okuizumo.ne.jp

横田事務所

〒699-1821 島根県仁多郡奥出雲町福原57番地6

TEL (0854)-52-0294 Fax (0854)-52-0137

有線 20-0294